

# HALL

町文化会館

☎286-1511

開館：午前9時～午後10時

休館：月曜日（祝日の場合は翌日）

1/10  
(土)

爆笑！肥後にわか  
くまもとの笑い

令和8年の初笑いも、肥後にわかで決まり！  
文化会館の新年恒例「爆笑！肥後にわか」が今年も  
やってきます。泣いて、笑って、楽しんではいよ！



◆開演

午後2時

◆入場料(全席指定)

一般 3,000円

ブルーム会員 2,500円

※当日各500円UP



# Niji-IRO

復興まちづくりセンターにじいろ

☎284-1711

開館：午前9時～午後10時

休館：月曜日（祝日の場合は翌日）

11/18  
(火)

まちづくりスクール #4

「農から考える地域コミュニティ」をテーマに、  
平田・赤井地区を舞台として、農業にまつわる現  
場見学ツアーやトークセッションを行います。



◆開催時間

午後1時30分

～4時30分

◆講師

(株)みっちゃん工房

光永カオリさん

防災士連絡協議会

井川寿範理事

◆参加無料

詳細・申し込みは  
二次元コードで→



# MINATERAS

交流情報センターミナテラス（図書館）

☎287-8411 図書館 ☎243-5115

開館：火・木～日曜日 午前10時～午後6時

水曜日 午後0時～8時

休館：月曜日（祝日の場合は翌日）、毎月第3金曜日

●新着図書案内 この他にも、公式ホームページ(二次元コード)では毎週おすすめの図書を紹介しています。



山の神の使い

最上一平/作 マメイケダ/絵 童心社

「山形にすむぼくのじいちゃん、ちょっと不思議な人で、なんでも自分でつくってしまえる」。春、夏、秋と祖父の住む山形を訪れる「ぼく」の目を通して、自然の雄大さと、そこで暮らす家族の営みをみずみずしく描き出した作品。



読書の秋に食欲の秋。本も食べ物もつつい手が伸びて止まらない！ だけど、借りた本を読むときは食べ物や飲み物で本を汚さないように気を付けてね。



さらば！店長がバカすぎて

早見和真/著 角川春樹事務所

書店員にも愛されたシリーズがまさかの完結！？ カリスマ書店員・京子の唯一無二の元同僚、磯田さんの結婚式が行われた。磯田さん改め田中さんに書店の未来を託されるが…。



見るだけでわかる！  
図解紙片づけ

石阪京子/著 ダイアモンド社

ダイニングテーブルに積まれたチラシ、気付けば期限切れのクーポン、探しても見つからない重要書類…。多くの人が苦手とする紙の片づけのメソッドを分かりやすく図解。

# KATARU

地域共生センター カタル

☎237-8822

開館：午前9時～午後10時

休館：月曜日（祝日の場合は翌日）



短期集中講座 益城ママのための再就職応援セミナー

「そろそろ働きたいけどブランクが心配…」、「何から始めたらいいかわからない…」など、再就職に不安を感じるママに向けた、自己理解・就活準備・採用事情から最新 AI ツールの使い方まで、再就職に役立つ知識とスキルを楽しく学べるセミナーです。

◆開催時間 午前10時～午後0時30分

◆参加無料

◆主催 益城地域共生センター管理運営共同企業体

◆講師 (株)きらり・コーポレーション ほか

◆対象 益城町在住で子育て中の女性

◆定員 各講座ごと15人(先着)

◆申込・圖

(株)きらり・コーポレーション 黒川 ☎288-3553

または、カタル窓口で受け付けます

◆その他 託児あり(1歳以上、定員があります)

◆全5回講座 ※全て水曜日

①11月12日 「人生を彩るマイブランド戦略」

②11月19日 「女性の社会復帰と熊本企業のリアル」

③11月26日 「ママのための就活コミュニケーション」

④12月3日 「家庭でも仕事でも育児でも使える  
はじめてのAI術」

⑤12月10日 「伝える履歴書、響く職務経歴書の書き方」

11/29  
(土)

認知症サポーター養成講座

◆時間 午前10時～正午

◆参加無料

◆講師 益城町社会福祉協議会

◆定員 20人(先着) ※カタルへ電話で申し込み



文化 流行 ニーハオ! タイワン 習慣 名所

益城町の友好交流都市である「台湾台中市大甲区」を中心  
に、台湾の暮らしや文化、習慣など、台湾の今をお届けします。



スマートフォンから自動車まで。見えないところで  
私たちの日常を支える、緑の下力持ちの半導体

台湾と熊本をつなぐ  
半導体



あらゆる電子機器に不可欠な半導体。現在、その製造拠点として世界をリードしているのが台湾です。

実は、かつて九州も「シリコンアイランド」と呼ばれ、熊本も豊富な水資源を背景に半導体産業で大いに栄えました。しかし、国際競争の激化によりその勢いは大きく衰退していました。

ところが、熊本に再び活気が戻ってきました。台湾大手半導体メーカーによる工場建設を皮切りに、関連企業の進出が相次ぎ、ここ益城町も初の産業団地が整備され、空港近辺でも大手企業の工場建設が進むなど、新生シリコンアイランドへの期待が高まっています。

この動きは、経済の活性化だけにとどまりません。熊本と台北を結ぶ航空便が5年ぶりに再開し、台湾からの移住者も増えるなど、文化的な交流も深まっています。小さな半導体が結んだ縁が、人と文化の大きな交流へと発展し、熊本と台湾を舞台とした新しい物語の幕開けとなりそうです。